

北関東医療相談会・長澤正隆 事務局長インタビュー

「在留外国人の健康守りたい」

イエスの言葉と行いを継承して

「国籍を問わず生活困窮者を救いたい」――北関東を中心に、外国人・生活困窮者のための無料健康診断会や法律相談を行っているNPO北関東医療相談会（通称AMIGOS）の代表理事、群馬県太田市、後藤裕一郎理事長。特に在留外国人が国籍や在留許可の有無などに関係なく医療を受けられる環境づくりを目指している。事務局長の長澤正隆さん（カトリックさいたま教区終身助祭）は、「仮放免者」と呼ばれる人々の実態を知ってほしいと訴えている。

1997年にスタートした医療相談会（無料の健康診断と弁護士相談）は、今年11月6日で40回を迎えました。毎回、日本語、英語の他にタイ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語など13カ国語でチラシと問診票を作成しています。埼玉県川口市で開催した時は、クルド人が多いのでトルコ語でも準備。言語を整え、その人の生活に根差した準備をしないとこの事業はできません。特に医療通訳は不可欠です。

群馬県太田市で、教会関係者が中心となって立ち上げた「フレンド」（群馬外国人労働者支援連絡会）というグループが現在の活動の基盤になっています。太田市内は外国人の国籍が最も多い地域。外国人のための医療相談会と97年に名称をあらため、年数回の医療相談会を実施してきました。2013年にNPOとして北関東医療相談会を発足。活動範囲も群馬、栃木、埼玉、茨城まで広がりました。

無料健康診断で病気が見つかった人は病院へ連れて行きます。昨年は20人を連れて行きました。その費用をアミーゴスが負担するに限りがあります。健康保険に入っていない問題はありますが、相談に来る人の9割以上が社会保険にも国民健康保険にも加入していません。その多くは「仮放免（入管施設に收容された外国人が病気の理由で收容を解かれること）になった人々です。仮放免者の数は全国でおおよそ4千人。そのほとんどが関東に集中しています。

任意団体の時は100万円だった収入が、今は400万円を超えました。地域と連携し、助成金によって法律相談や食糧支援、通訳援助、医療機関につなげ、生活困窮者を支援していくことが目標です。今年7月、初めて群馬・大泉町の生活保護担当者が、わたしたちが集めた助成金の一部を使って、胃腸病の女性を病院へ連れて行って

「無料低額診療会」は、行政もわたしたちと一緒に問題を考えたいというところから始まりました。一方で先日、体の不調を訴える人から突然電話があり、休日診療の病院に連れて行くこと、体温を測り、問診して、予約のために住所を書いただけで1万円を請求されました。保険に入っていない人に対しては150%の金額を請求すると言っています。それが現実で

女性や会社員など、カトリック信徒が中心ですが、プロテスタントの信徒や仏教者とも協力しています。わたしたちは自分たちの活動を「善きサマリヤ人」に重ねます。「地域や宗教を超えて愛し合わなければならない」というイエスの言葉に沿ってわたしたちは生きなければなりません。最も貧しい人々と関わりたい

なかがさわ・まさたか 1954年生まれ。酪農学園大学卒業後、食品会社に就職。2006年にカトリックさいたま教区終身助祭となる。

ながさわ・まさたか 1954年生まれ。酪農学園大学卒業後、食品会社に就職。2006年にカトリックさいたま教区終身助祭となる。

ながさわ・まさたか 1954年生まれ。酪農学園大学卒業後、食品会社に就職。2006年にカトリックさいたま教区終身助祭となる。

「無料健康診断で病気が見つかった人は病院へ連れて行きます。昨年は20人を連れて行きました。その費用をアミーゴスが負担するに限りがあります。健康保険に入っていない問題はありますが、相談に来る人の9割以上が社会保険にも国民健康保険にも加入していません。その多くは「仮放免（入管施設に收容された外国人が病気の理由で收容を解かれること）になった人々です。仮放免者の数は全国でおおよそ4千人。そのほとんどが関東に集中しています。



ながさわ・まさたか 1954年生まれ。酪農学園大学卒業後、食品会社に就職。2006年にカトリックさいたま教区終身助祭となる。



子宮がん検診車の前に並ぶ人々

第41回医療相談会は11月20日（日）午前10時～午後2時、茨城県取手市のあおぞら診療所（医療福祉生活協同組合いばらき）で開催される。無料。対象は15歳以上の外国人及び日本人。検査項目は胸部レントゲン、尿検査、子宮頸癌検査（希望者）、血液検査、心電図など。弁護士による無料相談会もある。問い合わせは長澤正隆さん（0800・5544・7577、午後7時～10時、予約可）まで。今後の開催予定などはホームページ（http://npo-amigos.org/index.html）を参照。

子ども里親募集 一人につき4千円/月
日本国際隣対策機構 ☎072-920-2225

キリスト新聞

2016年 11月12日 [土曜日]

発行所 キリスト新聞社

〒162-0814 東京都新宿区新小川
電話：03-5579-2432
ファクシミリ：03-5579-2433
振替口座：00180-4-196016
URL：http://www.kirishin.com

©キリスト新聞社 2016
週刊・土曜日発行 / 第5週土曜

●予約購読料（送料共）
半年分 7,900円 1年分 15,700円
1部定価300円（本体278円）

購読のお申し込み・見本紙の請求
電話・ファックス・集書・ホームペー

1週間で注目のツイッピック
今週のつぶやき

@0164288 10月31日 (son) ハロウィンとキリスト教は!! 違って青筋立てて言うのむじがするし。ハロウィンも、そういえばキリスト教係どーなってるの?? 考えたら嬉しい。そんなピューリタンかオスミス。から唐突に宣伝

@natgeopj 10月31日 (ルジオグラフィック)「キリ墓」数世紀ぶりに開けられたの墓と伝えられる石墓の取り外された。学術的な期まる。http://nkbp.jp/2e8

@CEEKJPNEWS 10月25日 牧師が脚本・演出（読売新拜堂で人形劇「シンデレラ」出を行う武井博さん（横浜リーチャベル名譽牧師、「ひりひょうたん島」元ディレク http://bit.ly/2ehXQub

@junkuike_jinbun 10月22 (ジュンク堂池袋本店人文 昨日より、キリスト教出版会、仏教書目録刊行会合同ア、キリスト教と仏教の出フェアを開催！ 12月4日ま

フタコト @christwe